

TKK3450形 デワ3043 晩年タイプ

Nゲージボディ未塗装組立キット

組立説明書



製品概要

TKK3450形は、1931年～1936年の間に、日本車輛製6両・川崎車輛製44両の計50両が製造されました。

全車が更新され平成元年まで活躍しましたが、このうちデハ3498は1981年に荷物車として再改造されました。

しかし荷物車としては1年足らずの活躍に終わり、その後は2009年まで長津田工場で入換車として余生を過ごしました。。

nano factoryでは、3450形各車をリリースしてきましたが、新たに3450形の生き残りとして最後まで活躍したデワ3043晩年の姿を選定して、3Dプリントにて皆様にご提供いたします。

未塗装板状キットですので、TKKデハ3450としてはもちろんのこと、細部加工で他の車番に改造したり、切り継ぎ等の加工で往年の各社旧型車を再現したりしてお遊びいただけます。

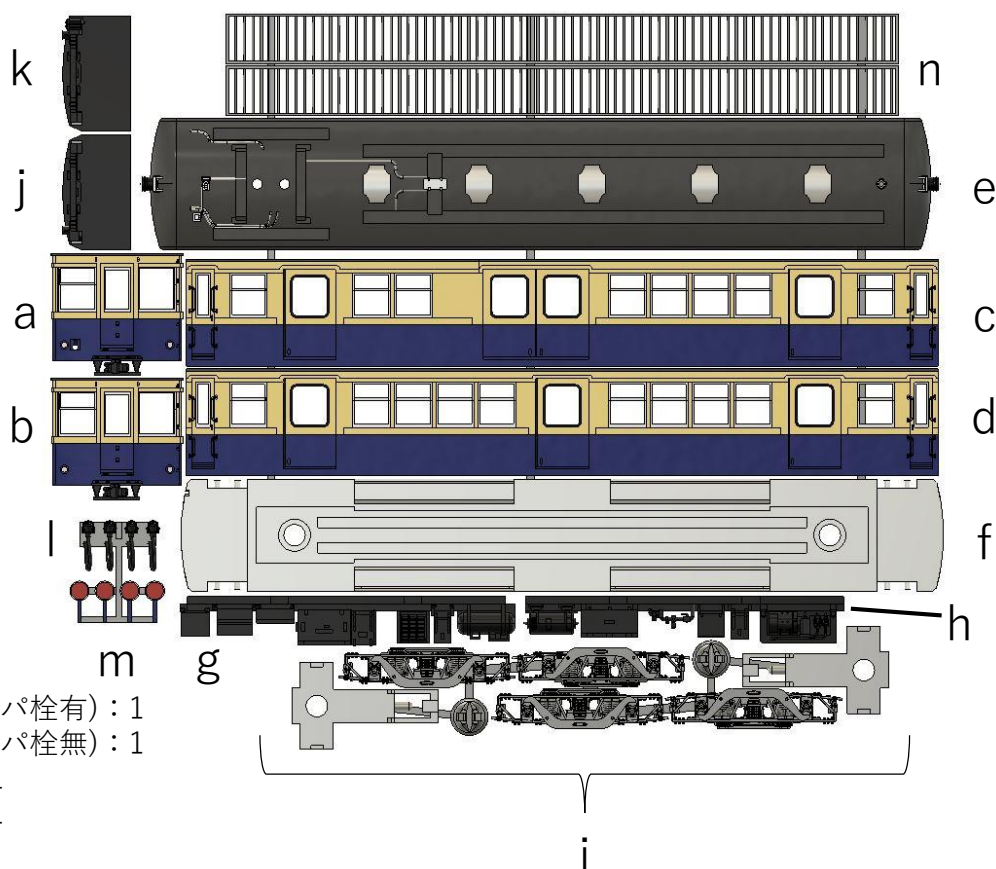
製品仕様

製品名：TKK3450形 デワ3043 晩年タイプ
Nゲージボディ未塗装組立キット

数量：TK3450形 デワ3043 1両分

内訳：

車体	屋根	床板	台車 (車輪別)
床下 機器	ダミー 連結器	屋根上 機器	動力化 対応



デワ3043：

- a. 前面(ジャンパ栓有)：1
- b. 前面(ジャンパ栓無)：1
- c. 側板山側：1
- d. 側板海側：1
- e. 屋根板：1
- f. 床板：1
- g. 床下機器山側：1
- h. 床下機器海側：1
- i. 川崎ポールドウィン台車：1両分2セット
- j. ジャンパ栓/排障器A：1
- k. ジャンパ栓/排障器B：1
- l. ジャンパ線：4
- m. 反射板：4
- n. 保護柵：2

別途必要品：完成には下記の弊社別売品及び社外品が必要です

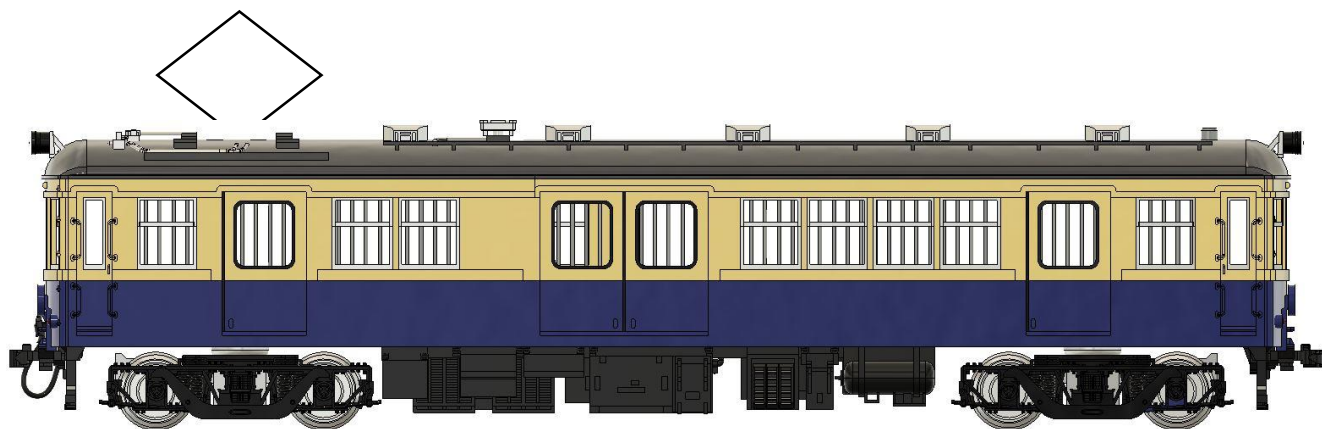
- ・ 車輪：Φ5.6 絶縁車輪：1両分4個※
- ・ 動力ユニット：トミーテック 鉄道コレクション 17m級動力台車 TM-05R
- ・ GM PT42N パンタグラフ：1個
- ・ 窓ガラス用透明板：透明塩ビ板・プラ板切出、前面2・側面2
- ・ 車体表記：1(各自要工夫)

※動力ユニット組込時は不要

製品外観

製品名：TKK3450形 デワ3043 晩年タイプ
Nゲージボディ未塗装組立キット

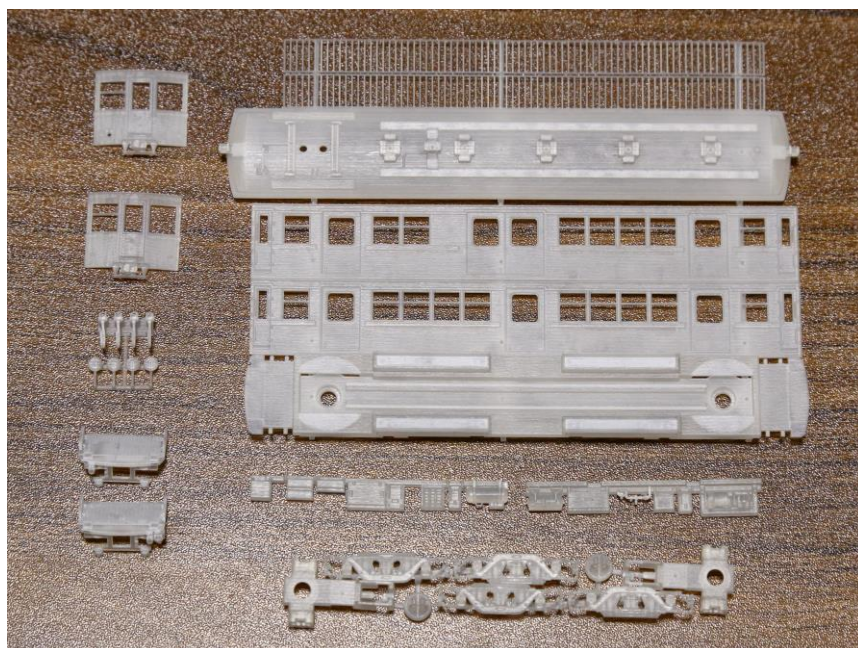
数量：TK3450形 デワ3043 1両分



デワ3043

納品状態

※写真は試作品です。



製品外観 形式写真

※写真は組立例です

Mc デワ3043



※写真はアクリルUltra modeでの出力品組立例

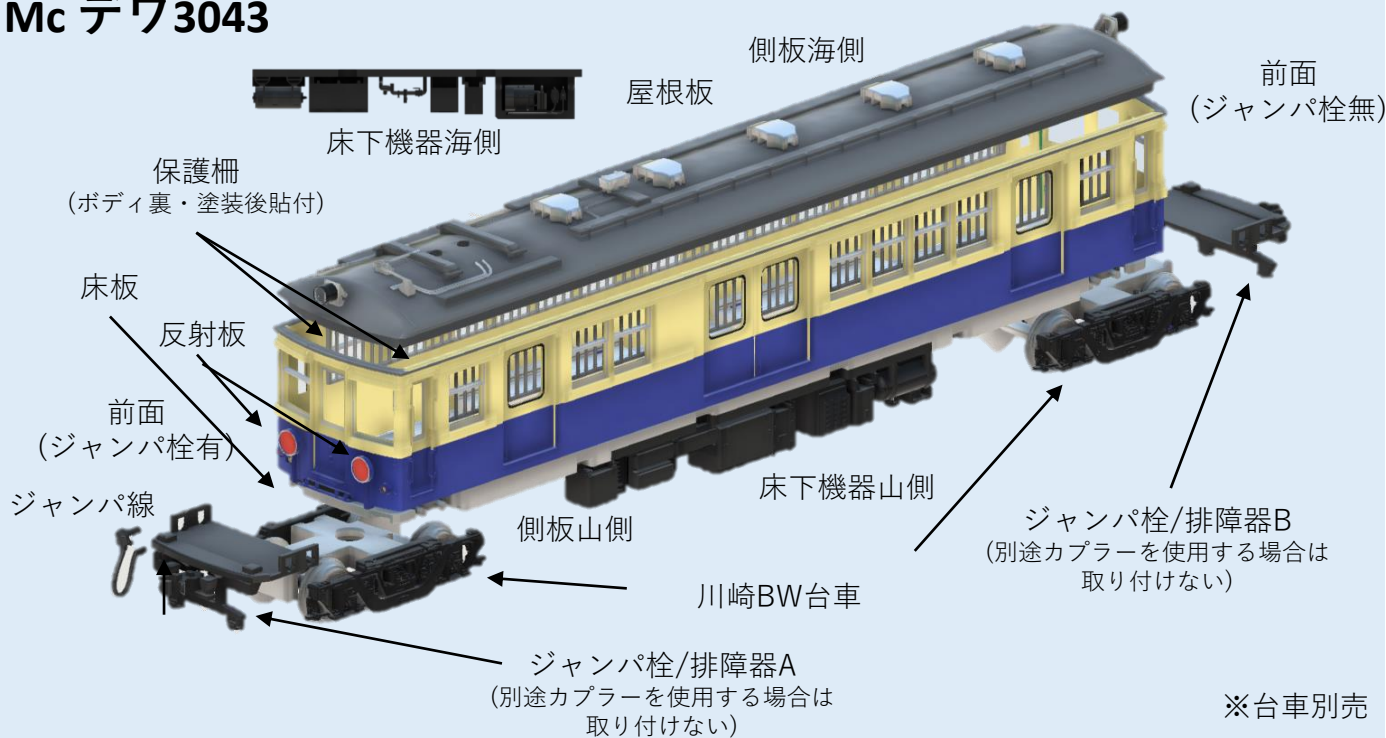
※本製品はボディ・屋根板・床板・台車枠：床下機器のみのキットです
パンタグラフ・車輪・カブラー・窓ガラス・車体表記類は別途ご用意ください



最晩年は、
より鮮やかに再塗装されていました

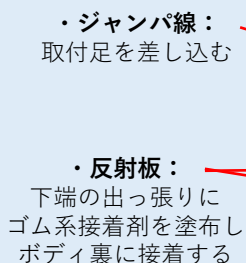
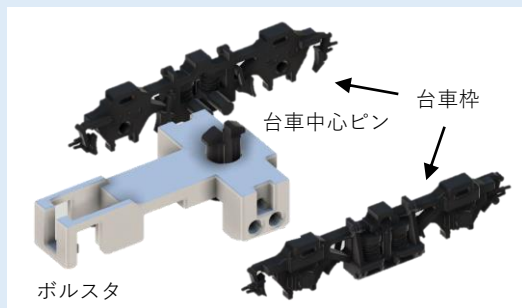
組立図

Mc デワ3043



台車組立

前面ジャンパ線・反射板取付方法



組立

- ・ ボディ：前面・側面・屋根板ののりしろに瞬間接着剤を塗布し張り合わせる
- ・ 床板：ボディ側板裾部のツメと床板の窪みをはめ込む
- ・ ジャンパ栓/排障器：床板先端の取付突起に引っ掛ける
- ・ 床下機器：床板窪みに瞬間接着剤等で張り合わせる
- ・ 台車：台車枠をボルスタに差し込み、中心ピンで床板に取り付ける
- ・ 付属パーツ：ジャンパ線・反射板・保護柵を塗装しゴム系接着剤等で取り付ける

塗装

- ・ ボディ：上部：アイボリー・下部：ネイビー
- ・ 屋根板：明灰色
- ・ 床下機器・ジャンパ栓/排障器・ヘッドライト側面：黒
- ・ 保護柵：銀
- ・ 反射板：赤(外縁：銀)

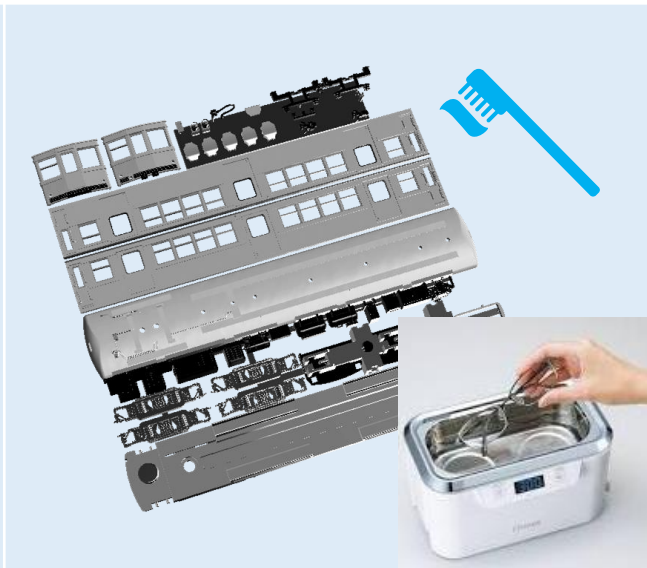
3Dプリントキットの注意点 (TKK旧3000形シリーズ 共通)

1. 全てのパーツを中性洗剤で洗浄します

パーツ表面の油分を取り除き塗料の定着を良くします。

このとき歯ブラシを使用し、ぬるま湯で丁寧に擦るとよいでしょう。

超音波洗浄器を使用すると、入り組んだ場所まで綺麗に洗浄できます。



2. 反りのあるパーツは60℃程度のお湯に浸し、手で矯正します

ボディや屋根板など、細長い板状のパーツは反りがある場合があります。軽微な反りはボディ接着の過程で矯正されますが、強い反りは60℃ほどの熱湯に浸すか、平板にヘアゴム等でプリント品を固定し、ドライヤーで熱することにより事前に矯正することができます。

熱湯を使用する際はやけどに十分ご注意ください。また、高温すぎると変形の原因となりますのでご注意ください。



3. 積層痕形目立つ場合は、紙やすりで削ります

ボディ前面・妻板の曲面や屋根板などの曲面・勾配がつく箇所は、3Dプリントの特性上積層痕と呼ばれる木目のような凹凸が発生します。

そのような箇所は、#600～#1200程度の紙やすりで削り平滑にしてください。削りすぎてディテールを損なわないようご注意ください。

